

なるほどのう



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

11月号



校内研究の充実
全体協議の場で
教員の「話す力・聞く力」の力量アップを図る!

学習の流れや本時のポイントが見える
板書の構造化

組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
予防的な生徒指導の充実に向けて

特別支援教育ほっと通信
働く上で「必要な力」「求められる姿」

【西部地域開催】
鳥取県エキスパート認定教員による公開授業の御案内

近年、授業を対象とした校内研修会は、グループ形式やワークショップ形式で行われることが増えてきました。各自の発言が容易で平等化していること、議論が活性化しやすいことに加え、議論の様子を模造紙やICT機器を活用して視覚的に捉えたり、保存したりできるという利点もあります。反面、「内容が深まらない」「結論が出ないまま終わる」「全体会議の場で主体的に発言や質問をする力が身に付かない」などの点が指摘されています。

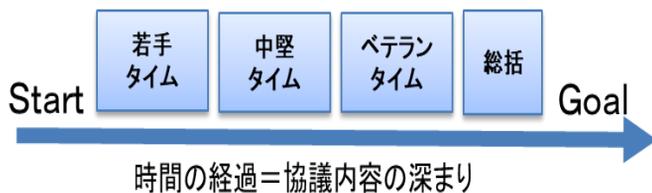
そこで本号では、全体協議の場を活かして教員の「話す力・聞く力」の力量アップを図っている学校の実践例について御紹介します。

実践例① 経験年数や立場に応じて役割を与え、全員に発言力を付ける!



はじめから核心をついた意見が出ると若手が発言しにくくなるので、経験年数に応じて時間帯を区切っています。同じ時間帯の中では、自信のない人ほど先に意見を言うように促すことで、全員発言につなげます。

経験年数に応じた帯時間の設定が有効!



若手は自由に意見を言い、中堅は経験をもとに話し、ベテランは理論をもとに改善点及び代案を述べ、研究主任(場合によって教務主任や教科主任)が総括をするという役割意識を、年度当初から共通理解しています。

管理職選抜特命チームをつくるのも有効!

※当日のみ(事前に本人だけに知らせておく)



真っ先に質問する



批判的な意見を言う



他教科からの視点を入れる

実践例② 「質問・回答・意見」の流れで質問力を付ける!



若手は本当にわからないことを聞いても良いですが、中堅以降は意見を言うために質問するよう促します。



実践例③ 司会者を輪番で経験し、質問をまとめる力を付ける!



若手は台本に沿って司会するだけでも良いですが、中堅以降は質問内容をまとめ、復唱してから授業者に回答を求めるようにします。



これまでにでてきた質問をまとめると、〇〇、××、△△の3点になりますが、よろしいでしょうか。それでは…

司会者が内容を復唱している間、授業者は回答をまとめる時間を確保できる。

全体協議もグループ協議も、内容を深めることが第一の目的ですが、教員の「話す・聞く力」「協議に参加する意欲と態度」を育成するのに最適な場でもあります。意図的に活用しましょう。

児童生徒とともに、これまで積み上げてこられた授業の様子はいかがでしょう。「めあて—まとめ・振り返り」のある授業を軸として、児童生徒が主役となる授業展開になっているでしょうか。大きな行事が終わりつつあるこの時期に見つめ直しいただき、年度末へ向けてさらに授業力のスキルアップを目指し、児童生徒の資質・能力の育成につなげましょう。

学力向上推進校事業に係る授業研究会を11月1日、米子市立彦名小学校で開催します。当日の授業公開へ向けて、「めあて—まとめ・振り返り」を軸とした授業構成や板書計画など、授業力のスキルアップに取り組まれています。9月、10月に実施した授業における板書の変容をもとに、学習の流れや本時のポイントが残る板書の構造化についてお伝えします。

【9月の板書】 第2学年「たし算とひき算のひっ算(2)」

めあて 一のくらしも十のくらしもくり上がるひっ算のしかたを考えよう。

ま 一のくらしと十のくらしをじっばんにくり上げる。

よ
$$\begin{array}{r} 65 \\ + 78 \\ \hline 143 \end{array}$$

と
$$\begin{array}{r} 65 \\ + 78 \\ \hline 143 \end{array}$$

かぞえほう、ひっ算のことば

① 一のくらしは $5+8=13$ 、十のくらしにくり上げる。

② 十のくらしは $1+6+7=14$ 、百のくらしにくり上げる。

③ こたえは143

めあてとまとめが書かれているし、図や式や言葉も書いてあるからよいと思うのだけど…?

子どもの目線で見ると…

大事なところはどこだったかな?

式や図や言葉を関連させながら本時の学習内容を理解できるように、書く位置や色づかい等の構成を考えることが大切です。

【10月の板書】 第2学年「かけ算(1)」

めあて かけられる数が5のとき、答えがいくつつふえるかしらべよう。

ま かけられる数が5のときは、答えは5ずつふえる。

と 1台分から4台分

よ 5台分から9台分

ジェットコースターは、1台に5人ずつのれます。台数がふえたときに、のれる人の数をしらべましょう。

かけられる数 かける数

$5 \times 1 = 5$
 $5 \times 2 = 10$
 $5 \times 3 = 15$
 $5 \times 4 = 20$

$5 \times 5 = 25$
 $5 \times 6 = 30$
 $5 \times 7 = 35$
 $5 \times 8 = 40$
 $5 \times 9 = 45$

答えは5ずつふえている

全体的にすっきりしたし、子どもたちの気づきや考えをどうつなげていか、流れもイメージできるな。

式から見つけたことやキーワードを使ってまとめられたよ。

改善点①
図と式を対応させるように板書している。

式の意味を図でイメージしながら理解することができます。

改善点②
本時で重点的に扱う内容を中心に構成されている。

本時のねらいの達成に向けて、子どもの気づきや考えを関連させて考えやすくなります。

改善点③
まとめにつながるキーワードが板書されている。

まとめを考える時に、本時の学習を振り返り、ポイントを確認することができます。

板書は、児童とともに授業を展開する上で、重要なツールとなります。児童の気づきや考え方を表現する場として、また、それらを共有しながら個々の考えや理解を深めていくことができるように、授業構想と合わせて板書の構造化も考えてみましょう。

☆日々の授業、校内研究会、学年会などの機会に、授業を振り返るツールとして活用するのも効果的です。



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」
予防的な生徒指導の充実に向けて

西部教育局
 お役立ち情報
 令和4年11月号

教師と子供との良好な関係づくりは、予防的な生徒指導の観点からも欠かせないものです。本号では、関係性を築くための「コーチング」のスキルを、日々の何気ないやり取りの中に取り入れるためのポイントについてお伝えします。



「傾聴する」

自分の関心より相手の関心を聴く

「話を聴いてもらいたい人」になっていますか？

【休憩時間の会話（例）】

先生、昨日サッカーの試合があって…



BAD

お～、それよりも宿題出てなかったけど、全部終わったの？



GOOD

お～、どうだった？（へえ～、なるほど～、たしかに！）



「質問する」

質問の内容を積極的（前向き）なものにする

- ①「否定」より「肯定」を意識した質問をしましょう！
- ②「過去」より「未来」

BAD

- ①「どうしていつも時間に間に合わないの？」
「これだけ説明したのに何でわからないの？」
- ②「何ですぐにしなかったの？」
「どうしてこんなことになったのかな？」



GOOD

- ①「時間を守るためには何ができるかな？」
「早くで説明したけど大体わかったかな？」
- ②「今からできることは何だろう？」
「これからどうしていきたい？」



「承認する」

目に見えないものを認める

「YOU・I・WEメッセージ」を意識した声かけをしてみましょう！

★変化や行動や姿勢をほめる

あなたは〇〇だ

「Aさんは計算がとても速くなったね」
「Bさんはいつも真剣に話をきいてくれるね」



YOUメッセージ

★存在をほめる

あなたが〇〇なのは私にとって〇〇だ

「Cさんの説明がとてもわかりやすくなったから私はきいていて安心です」



Iメッセージ

★組織に貢献していると感じさせる

あなたが〇〇なのは私たちにとって〇〇だ

「Dさんが司会をしてくれるとみんなが発言しやすいですね！」



WEメッセージ

参考：「令和4年度生徒指導基幹研修」（佐藤啓子）講義資料

R4年5月号のお役立ち情報では、子供との関係性を築くうえで大切な「みる・きく・認める」についてお伝えしています。右のQRコードから御覧になれますので、ぜひ参考にしてください。





働く上で「必要な力」「求められる姿」

就労先や進路指導担当者等からいただいた御意見を参考に、働く上で「必要な力」「求められる姿」についてまとめました。

障がいのあるなしに関わらず、すべての子供たちに「必要な力」「求められる姿」です！

基本的な生活習慣

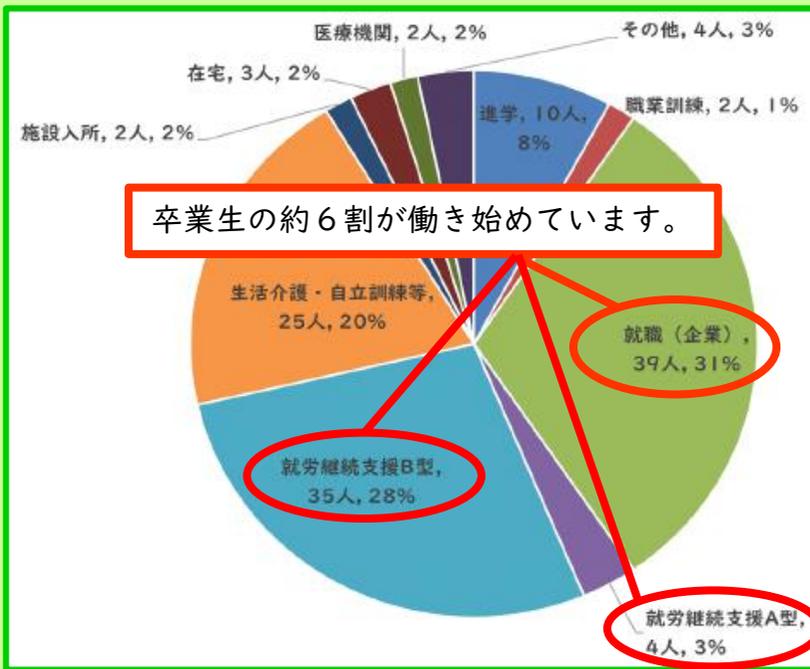
- 衛生習慣を獲得している。
- 整理整頓ができる。
- 時間を意識することができる。

コミュニケーションの力

- 挨拶・返事ができる。
- 丁寧な言葉遣いができる。
- 報告・相談ができる。
- 自ら話しかけることができる。
- 言葉での指示が理解できる。

【特別支援学校高等部・専攻科卒業者の進路】

(令和4年3月卒業者)



元気な心と体

- 一日働き続ける体力がある。
- 働くことに意欲的である。
- 集中力がある。
- 責任感がある。

社会性(他者との関係づくり)

- ルールを守る。
- 嘘を言わない。
- 感情をコントロールすることができる。
- 自分で考えて行動できる。
- 柔軟に対応できる。
- 危機対応ができる。

「令和4年度鳥取県の特別支援教育 - 理解と啓発のために -」より(鳥取県教育委員会特別支援教育課のホームページから御覧いただけます。)

効果的に子供たちの力を高めるためには、「**家庭との連携**」も必要不可欠です。課題を共通理解した上で目標を明確にし、取り組みを進めましょう。

「活動ありき」ではなく、「**活動をとおして、どのような力を育成するのか**」を明確にすることが重要です。子供たちの現状を適切に把握し目標を明確にした上で、授業の中で意識して指導しましょう。

子供たちにとって**先生方はロールモデル**です！働く上で必要な力の獲得につながるよりよいモデル(言語モデル、行動モデル、思考モデル)となることを常に意識しましょう。



【参考】
R3.7月お役立ち情報

働く上で必要な力は、**学校生活の様々な場面で身に付ける**ことができることを意識しましょう。

西部地域開催

チャンス!

鳥取県エキスパート認定教員による

公開授業の御案内

西部教育局
令和4年11月

優れた教育実践を行っているエキスパート教員の授業を参観することは、教育技術を学ぶとてもよい機会です。教科等の指導技術や児童生徒がいきいきと学ぶ環境づくり等、具体的な姿から指導のコツやポイントを学ぶことができます。ぜひ、御活用ください。



認定分野

「小学校 国語」

米子市立淀江小学校

米子市淀江町西原244番地2

●授業者
吉田 温子 教諭

- 開催時間【受付】13:30~
【公開授業】13:45~14:30
【研究協議】14:45~15:45
- 授業内容【単元名】第1学年
「まとめてよぶことば」
※「なかまになることば」と「まとめてよぶことば」があることに気付かせる導入の工夫
※1年生が意欲的に学習に取り組めるようにする仕掛け
※自主学习につなげる手立て
※基本的な学習規律の指導

授業日

11月1日
(火)

10月31日
(月)
申し込み
締め切り

認定分野

「小学校 学級経営 自立活動」

境港市立 境小学校

境港市湊町27番地

●授業者
川田 亜葉加 教諭

- 開催時間【受付】13:45~14:00
【公開授業】14:05~14:50
【研究協議】15:15~16:00
- 授業内容【単元名】第1学年
「はっけんしたよ」
※授業のユニバーサルデザイン化
※実態の異なる児童に対する全員参加の授業づくり
※つまづきに応じた支援の工夫
※学習定着のための個々に応じた反復学習
※参観者は多目的室での参観

授業日

11月1日
(火)

10月21日
(金)
申し込み
締め切り

認定分野

「小学校 学級経営」

日吉津村立日吉津小学校

西伯郡日吉津村日吉津872番地12

●授業者
高橋 延子 教諭

- 開催時間【受付】13:20~13:40
【公開授業】13:40~14:25
【研究協議】14:50~16:30
- 授業内容【単元名】第4学年
「小数のかけ算やわり算」
※困難度査定をもとにした授業づくりと指導上の工夫について
※発展的課題の協同解決でどのように理解が深まるか(理解深化)
※自分の考えを友達に伝えるための手立て(学級経営)

授業日

11月14日
(月)

11月7日
(月)
申し込み
締め切り

認定分野

「小学校 外国語活動・外国語」

米子市立福米東小学校

米子市東福原5丁目7番地1

●授業者
山中 健一 教諭

- 開催時間【受付】13:00~13:30
【公開授業】13:40~14:25
【研究協議】14:45~15:45
- 授業内容【単元名】第4学年ひまわり学級
「アルファベットツイズをつくろう」
(Let's Try2! Unit6 Alphabet)
※多感覚を意識したアルファベットの指導(触覚)
※活動(主にClassroom English)を視覚化する教具の工夫
※参加者数を制限(教室10人程度)

授業日

11月16日
(水)

11月11日
(金)
申し込み
締め切り

認定分野

「中学校 国語」

米子市立東山中学校

米子市車尾617番地

●授業者
飯塚 洋介 教諭

- 開催時間【受付】13:10~13:40
【公開授業】13:40~14:30
【研究協議】14:40~15:40
- 授業内容【単元名】第3学年
「作品の魅力に迫ろう~『故郷』の読解を通して」
※作品の魅力に迫る「深い学び」の実現
※読み取りの視点から選ぶ「個別最適な学び」の実現
※発表を通して深め合う「協働的な学び」の実現
※弓ヶ浜中学校生徒とのオンラインによる合同発表

授業日

11月17日
(木)

11月11日
(金)
申し込み
締め切り

認定分野

「小学校 特別の教科道徳」

伯耆町立岸本小学校

西伯郡伯耆町吉長78番地2

●授業者
萬井 雅子 教諭

- 開催時間【受付】13:40~14:00
【公開授業】14:05~14:50
【研究協議】15:15~16:05
- 授業内容【単元名】第3学年
「持ってあげる?食べてあげる?」(B 親切・思いやり)
※思考ソールの活用により、道徳的諸価値を多面的・多角的に考える力を育てる。
※一人一人の子どもの学びを深めるために体験的な学習を取り入れた学習の工夫。
※授業カンファレンスを意識した授業づくり。
※メディアルームでリモート参観。

授業日

11月22日
(火)

11月15日
(火)
申し込み
締め切り

認定分野

「小学校 特別活動」

米子市立福生東小学校

米子市皆生5丁目18番地32

●授業者
千代 曜子 教諭

- 開催時間【受付】13:30~14:00
【公開授業】14:00~14:45
- ※米子市中学校区人権教育研究発表会と兼ねる
- 授業内容【単元名】第1学年
仮「ばりばりマスターめざそうかい」をひらこう
※入門期から段階的に支援し、児童に話合いの手順を身に付けさせる過程の公開となります。
※どの学級でも取り組める「普段着」の学級会を目指しています。
※参加者数を制限します。(先着順5人程度)

授業日

11月25日
(金)

11月21日
(月)
申し込み
締め切り

★ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。
※開催案内とファクシミリ送信票は、各校へC4thで送付されています。
また、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードすることもできます。
※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますので御注意ください。

鳥取県教育センターホームページからの参加申し込み方法



- ①教育センタートップページを開く
- ②「エキスパート教員授業案内」をクリック!
- ③参観したい校種をクリック!
- ④一覧表に添付されている「ファクシミリ送信票」を開いて印刷
- ⑤必要事項を記入し、開催校の学校長宛にファクシミリで送付



☆感染症対策への御協力をお願いいたします。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催方法の変更又は中止、延期になる場合がありますので、あらかじめ御了承ください。